



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成 30 年 12 月号

本校の今年の「漢字一文字」は？



4月7日（土）の入学式及び始業式に始まった今年の授業も12月15日（土）を最後に冬休みに入りました。中高部サンノゼ校では今年を締めくくる全校朝会で校長講話がありましたので、以下要約して紹介します。

---1年を振り返り皆さんにとって、今年はどうな年だったでしょうか。毎年、年末恒例となった今年1年の世相を表す「漢字一文字」が発表され「災」（さい／わざわい）に決まりました。その理由は「全国的に地震、豪雨、台風、猛暑など自然災害の脅威を痛感した1年」だったということです。ちなみに、「本校の漢字一文字」を考えてみました。それは

【写真は記事とは関係ありません。】 変化の「変」です。理由は、中学部入試の導入と高等部入試の一部変更があったからです。今年度から、高等部の進学希望者は全員が受験をすることになります。合否は、入学試験の結果ばかりでは判断しません。普段の授業や生活態度等も総合的に見て判断します。入学試験でいい点が取れなかったら、どうしようと不安に思っている人が居ると思いますが、テストの点数だけで判断されるわけではありません。諦めている人も、まだ迷っている人も、是非挑戦してください。---

特別授業多くの感動を残し成功裏に終える



今年も毎年恒例の「特別授業」が行われました。特別授業は日本の学校の学習発表会に相当するもので、サンフランシスコ、サンノゼの幼小部でそれぞれ行われています。ここでは、サンノゼ校の特別授業についてご紹介いたします。

今年は新しい試みとして低・中・高学年の3部立てに分けたことで、児童・保護者の入退場が非常にスムーズに行われ、発表時間にも余裕がありのびのびと発表できたようです。以下、主幹からのコメントです。---大気汚染による休校や雨天のために大幅に練習計画が削減、変更になりましたが、幼小部SJ校の児童、職員が一丸となり、子どもたちの興味ややる

気を引き出し、本番では彼らのもつ力を最大限に発揮できたと思います。今年は、幼稚部幼児が初めて特別授業を参観しました。先輩の発表に刺激され、「1年生になる」ことへの期待が益々膨らみました。最後の保護者合唱団も参加しての校歌斉唱は、幼児・児童・保護者・教職員が一体となり、大きな感動を呼び起こしました。---